

令和6年度 指定管理業務 実績評価シート

基本様式

作成年月日

2025年10月14日

部課名 観光部文化振興課

施設名	弘前れんが倉庫美術館及び土淵川吉野町緑地
施設の設置目的	JR弘前駅と弘前公園の中間に位置し、中心市街地に隣接する吉野町周辺に当該施設を設置し、文化芸術活動の推進及び中心市街地の賑わいを創出するもの
所在地	弘前市大字吉野町2-1,2-7
指定管理者名	弘前芸術創造株式会社
指定期間	令和2年4月1日～令和17年3月31日
1 事業計画の実施状況	<p>PFI事業契約書、要求水準書及び令和6年度運営・維持管理業務年間計画書に基づき、概ね計画通りに実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>今年度は、自主事業を3件実施しており、市内大学生の観覧料を無料とする「学生鑑賞支援プロジェクト」を実施した。弘前大学への寄附講義では、秋冬プログラムの出品作家であるアーティストの高山明氏から直接話を聞く機会を設けた。このように大学・専門学生に対する鑑賞支援を実施し、現代美術への関心が高まるよう鑑賞機会を提供した。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>今年度より、弘前市民を対象に観覧料が500円割引となる「市民割」を導入し、市民の来館を促進した。また、利用者のサービス向上を図るため、展示室や各施設の館内サインを改善した。このほか、春夏プログラムでは、まちなかでの館外展示を行い、回遊性の向上に努めた。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>展覧会観覧者向けにアンケートを実施し、春夏プログラムでは3,620件、秋冬プログラムでは930件の回答を得た。アンケートは、主に展示室出口に設置したipadで回収しているが、より多くの声を反映できるよう、秋冬プログラムからは紙のアンケートも取り入れた。また、回答者の中から次回展覧会の招待券を抽選でプレゼントする特典をつけるなど、回答率の向上に努めている。引き続き市民ニーズの把握に努めていただく。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>展覧会観覧者数は目標であった約59,000人を大幅に上回り、過去最多となる70,387人（館外展示6,438人を除く）を記録した。貸館の利用者数は、年々増加傾向にあり、令和6年度は昨年度より7,013人増の21,678人であった。</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>令和4年度からこれまでの来館者実績を踏まえた年間収入を算出し、それに見合った指定管理業務を実施することとしている。令和6年度の収支実績は黒字であった。来年度以降も収支の安定化に努めていただく。</p>

7 実地調査の結果

月次報告や年間報告等については、内容の改善を要する項目が減少しており、設備等の不具合については、対応に時間を要する場合もあるが、当該施設の運営・維持管理業務は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

当該施設の運営・維持管理業務は要求水準どおりに実施されている。

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	契約書、要求水準書等に基づき、指定事業の実施、法令等の遵守、適切な職員配置をし、施設運営を行った。	弘前市民はもちろん、訪日外国人旅行者や弘前市外からの旅行者に向けて、展覧会やイベント、様々な取組を広く周知していく。
施設の管理	B	設備点検や定期衛生作業を実施し施設は良好に保たれている。また常駐警備業務を実施し利用者の安全を保っている。	天井換気塔からの水漏れや空調設備の劣化等の事象が散見されるため、定期的に適切に対応する必要がある。
経理の状況	B	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況については適正に実施されている。	適正に管理されていると判断される。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書通りに実施されており、SPCは安定して運営されている。	特に問題は見られない。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	PFI事業契約等に基づき、概ね適切に実施するとともに、アートだけでなく幅広いジャンルのイベント等を実施し、施設の周知に努めている。	業務報告書等の提出遅れなどの改善に努めていただくほか、展覧内容の充実や魅力あるイベントを企画し、来館者数の増加に努めていただく。
施設の管理	B	PFI事業契約等に基づき、概ね適切に実施するとともに、施設の不具合状況の早期発見に努めている。	翌年度に継続する不具合が散見されるため、速やかに対応するよう努めていただく。
経理の状況	B	令和6年度の収支実績は黒字であったが、物価高騰等の影響を考慮し、支出の抑制に努めている。	来館者実績を踏まえた、収支管理に努めていただく。
団体の財務状況	B	概ね事業計画書どおりに実施されており安定している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評 価 の 視 点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する